

CASE STUDY

※一部抜粋

繋がる日本プロジェクト

世代と地域のギャップを超えた共創を生み出す



tsunagaru-nippon-project.jp

1

32歳までの若者共同事業体 / リ：ジョン・クエスト

福岡県中間市、福岡市、高知市、鳴門市、旅行代理店、繊維会社

2

YOUTHE VENT COMMISSION

富山県商工労働部、富山県女性活躍推進室、宮崎県、長野県、富山県砺波市、川崎市、株式会社meleap、株式会社よしもとエリアアクション、旅行代理店、映画制作会社、製薬会社、学生団体共同出展、学生団体共同企画、学生共同企画

3

ツナガル・オウンド・メディア

World connect project、自主メディア

4

ビヨンド・バリュー・プロジェクト

大阪府松原市、守口市、奈良県橿原市、ヒューマンアカデミー日本語学校



32歳までの若者共同事業体

「若者たちの活動で共創を生み出す」

子供たち、若者たちの「できる」選択愛と可能性を
広げ未来へ繋ぐ



リ：ジョン・クエスト

「地域の課題で共創を生み出す」

日本各地域において、地域内の人々の共創を生み出
し、地域外の人々との関係人口を生み出す

事例

企画・調整：大人たちの共創コンソーシアム、32歳までの若者共同事業体、リ：ジョン・クエスト

福岡県中間市役所 様

福岡市内の大学生とタイアップ 観光地開発プロジェクトツアーを実施

実施背景

- かつて炭鉱の街として栄えたものの、現在は地域の衰退が顕著である。
- 若年層の観光誘致を図りたいが、観光スポットの不足、特に若年層向けの魅力的な観光資源が不足している。



実施内容

- 福岡市内の学生を対象に12月から1月の毎週末にバスツアーを実施。学生たちは市内を散策しながら、若者目線で新たな観光スポットを開発。
- 市長との意見交換会を開催し、学生たちから直接意見を伺います。これらの意見は、次年度以降の施策に反映させ、より魅力的な街づくりに繋げる。
- 若年層の視点を取り入れた新たな観光資源の開発と、学生たちの意見を市政に反映させることで、地域の活性化を目指す。



事例

企画・調整：大人たちの共創コンソーシアム、32歳までの若者共同事業体、リ：ジョン・クエスト

福岡市役所 様

福岡市内の大学生と着物会社タイアップ 観光地開発プロジェクトを実施

実施背景

- 博多駅から徒歩圏内の距離にありながら、多くの寺院や古いまちなみが残るエリア「博多旧市街」における認知拡大、若年層誘致プログラム。

実施内容

- 福岡市内の学生を対象に、博多旧市街の歴史的・文化的魅力を再発見するワークショップを開催。学生自らが観光プランを企画・造成するプロセスを組み込み。
- 地域着物会社とのタイアップにより、写真映えする体験型コンテンツとして学生に好評な観光プランを提供。東圏の学生団体・ゼミとの連携により、福岡市外からの若年層の誘客に貢献。



事例

企画・調整：大人たちの共創コンソーシアム、32歳までの若者共同事業体、リ：ジョン・クエスト

高知市役所 様

高知市内の学生とタイアップ、 地域通貨普及プロジェクトの実施。

実施背景

- 地域経済や地域コミュニティの活性化を目的としてさまざまな地域で導入・検証されているデジタル地域通貨だが、地域内での普及に課題があり、地域の学生とともに、地域商店街などへの導入を促進したい。

実施内容

- 高知市役所と地元の大学生が共創で、地域通貨普及に向けた勉強会を実施。若者ならではの視点と専門知識を融合させ、効果的な普及戦略を検討。
- 地域通貨の導入にハードルを感じていた商店街の事業者に対し、学生チームが中心となり説明会を開催。導入のメリットや具体的な利用方法を説明するとともに、導入後の運用まで支援することで普及活動を行う。



事例

企画・調整：大人たちの共創コンソーシアム、32歳までの若者共同事業体、リ：ジョン・クエスト

徳島県鳴門市役所 様

徳島県内の大学生とタイアップし、
全国の起業学生を対象したモニターツアーを実施。

実施背景

- 都市部への人口流出が続く中、徳島県では企業誘致が課題。
- 「起業意識の高い若者」をターゲットに、県外の学生を呼び込むことで、将来的な企業誘致や地域活性化につなげることを目指す。



実施内容

- 徳島県内の学生が企画に加わることで、参加者にとって魅力的なコンテンツを創出。学生世代のニーズに沿った企画内容を実施するとともに、学生を通じて、都市圏の起業家意識のある学生へ直接アプローチ。潜在的なターゲット層へ、効率的かつ確実に情報を届ける。
- ツアーには参加者約50名集まるとともに、複数名がツアー後の起業家プログラムへ参加。実際に市内で起業を成功させた事例も生まれた。



事例

企画・調整：大人たちの共創コンソーシアム、32歳までの若者共同事業体、リ：ジョン・クエスト

某旅行代理店

地域活性に取り組む学生団体、若者メンバーとの 観光庁観光再始動事業における旅行商品の共同開発

実施背景

- 観光再始動事業において自社のみでは提案できる地域が限られる。
- 若者と共同で事業を行うことで、実施地域を拡大できるとともに、若年層の新たなアイデアを活用し、魅力的な観光コンテンツの造成を図りたい。



実施内容

- 全国9エリアで地域活性化に取り組む学生団体や若者メンバー約15名と連携し、共同での観光コンテンツ開発を実施。
- 各地域で活動する若者たちが地域の自治体や観光関連事業者と連携し、旅行商品の観光コンテンツの企画を実施、某旅行代理店が旅行プランの造成などを担当し、共同で観光開発を実施。



事例

企画・調整：大人たちの共創コンソーシアム、32歳までの若者共同事業体、リ：ジョン・クエスト

某繊維商社 様

SDGs部署における取り組みについて、 学生たちからの意見ヒアリングを実施

実施背景

- 自社のSDGs部署が計画している取り組みが、若年層に響く内容であるかを確認し、今後の取り組みの方向性を検討したい。



実施内容

- SDGsやフェアトレードなどの活動に関心を持つ学生20名と、SDGs部署の社員によるオンライン意見交換会を実施。
- 学生側から現在の若年層世代がどのようなことを考えているのかなど意見が活発に出され、今後の取り組みの方向性が明確化。





ユース・イベント・コミッション
「若者たちがイベントで共創を生み出す」

全国の学生団体、サークルによって様々なイベント
開催を企画から運営までワンストップで提供する

事例

企画・調整：リ：ジョン・クエスト、地域∞ミライ・プロジェクト、32歳までの若者共同事業体

富山県庁 商工労働部 様

関西圏における若者たちへの知名度向上と関係人口創出

実施背景

- 県人口が75年ぶりに100万人を割りこむとともに、各地の県人会の高齢化によるイベントの衰退、地域企業の採用課題などに対して課題。
- 県内出身者以外の富山県に関わる母数を増やしコミュニティを構築することで関係人口の創出、将来のUIターンや移住への動機づけを図りたい。

実施内容

- 年間4回の交流イベントを大阪、東京で開催。
- 関西圏の大学生、若者たち延べ約60名、富山関係企業延べ約20社が参加。
- 地域の魅力や課題、参加企業の課題等をテーマにディスカッションを実施。
- 参加者アンケートでは参加者の90%が、「地域での取り組みについて興味が高まった」・「地域での取り組みを行いたい」と回答を行う。
- 関西圏での富山県PRイベントでのブース出展などをコミュニティ内の学生たちと一緒に実施。



事例

企画・調整：リ：ジョン・クエスト、地域∞ミライ・プロジェクト、32歳までの若者共同事業体

富山県庁 女性活躍推進室 様

女性の地方就職、キャリア形成に関する意識調査 関西圏における若者たちとの関係人口創出

実施背景

- 学生の地方就職およびキャリア形成に関する意識変化を把握し、今後の施策に繋げることを目的とする。
- 県内および関東圏の学生を対象に、自治体主催や大学連携による地方就職イベントを実施しているが、集客に課題を抱えている。

実施内容

- 年間2回の女子学生を対象とした交流イベントを大阪で開催。
- 関西圏の大学生、若者たち延べ約40名が参加。
- 女性活躍推進企業の若手社員や女性起業家、フリーランスなどの富山県内の女性をトークゲストに、これからの働き方を考える交流会を実施。
- 参加者アンケートでは参加者の90%が、「富山県での働きや暮らしについて良いイメージへ変化した」と回答。



事例

企画・調整：リ：ジョン・クエスト、地域∞ミライ・プロジェクト、32歳までの若者共同事業体

宮崎県庁 企画広報課 様

若年層に対する仕事や暮らしの魅力発信 関西圏における若者たちとの関係人口創出

実施背景

- 20～30代に向けたUIターンイベントなどを開催するが、大学生世代など今後の移住、関係人口予備軍に対するアプローチ施策が不足している。
- 宮崎県についての暮らしの魅力や働き方についての情報発信を行い、関西圏における若年層への関係人口を創出したい。

実施内容

- 毎年秋ごろに関西圏の大学生を対象に交流イベントを開催。
- 関西圏の大学生、若者たち延べ約30名が参加。
- 宮崎県内にて地方課題解決や県外学生インターン事業などで活躍する社会人をゲストにお招きし、宮崎県での暮らしについて考えるきっかけを提供。
- 参加者アンケートでは参加者の95%が、「宮崎県への興味関心が大いに高まった」と回答。イベント後、登壇企業の宮崎県内でのインターンに参加するなど実際に足を運ぶ学生も見受けられた。



事例

企画・調整：リ：ジョン・クエスト、地域∞ミライ・プロジェクト、32歳までの若者共同事業体

長野県庁 大阪事務所 様

関西圏における若者たちとの関係人口創出

実施背景

- 20～30代に向けたUIターンイベントなどを開催するが、大学生世代など今後の移住、関係人口予備軍に対するアプローチ施策が不足している。
- 今後の若年層へのアプローチ施策として検討したい。



実施内容

- 若者たちが主催の地域活性をテーマにしたイベントへ、長野県大阪事務所がゲストとして、富山県とともに登壇。
- 学生30名とともに、長野県の抱える課題に対して、どのような課題解決ができるのかディスカッションを実施。



事例

企画・調整：リ：ジョン・クエスト、地域∞ミライ・プロジェクト

富山県砺波市役所 様

地方での起業意識向上に向けたイベントを開催 地域内外の若年層との関係人口創出

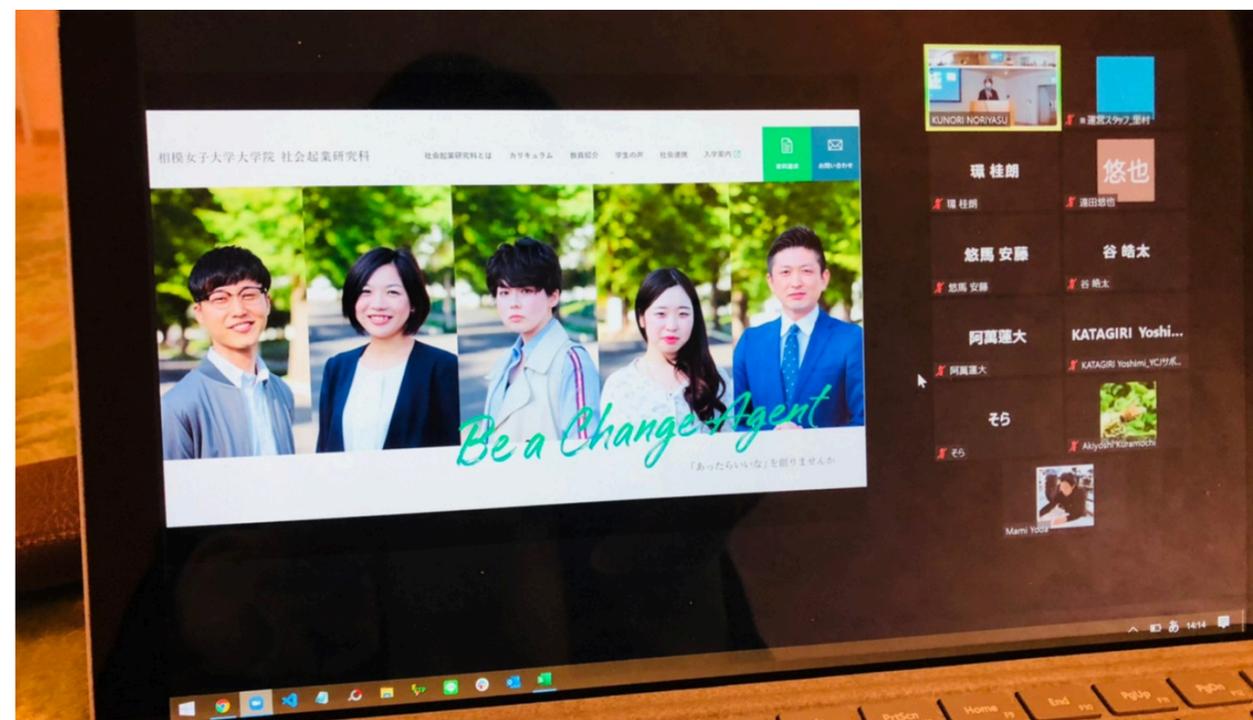
実施背景

- 砺波市が持つ独自の魅力を効果的に伝え、認知度を高めることで交流人口及び関係人口の増加を図る。



実施内容

- 大学生が主催となり、地域企業、地域自治体を巻き込みイベントを開催。
- 「地方で稼いで社会貢献するビジネスモデル」をテーマに、相模女子大学の教授より学生向けに講義を実施。
- オフライン参加者10名に加え、オンラインで全国から35名が参加し、地方での起業に関する活発な意見交換が行う。



事例

企画・調整：イベント・コミッション、リ：ジョン・クエスト

神奈川県川崎市役所 建設緑政局 様

河川敷の新たな利活用における若年層とのタイアップ 地域住民向けスポーツイベントの開催

実施背景

- バーベキュー利用者によるゴミの投棄や騒音等の課題。
- 地域課題の改善や水辺の新たなにぎわい創出に向け、民間事業者と取り組みを行いたい。
- 地域の交流が希薄になりつつある社会で、住民間の交流を促進したい。

実施内容

- 老若男女誰もが気軽に参加できる、モルックイベントを毎月開催。
- 地域住民を中心に関東圏より、年間2,000名の方が参加。
- 現在、川崎市でスタートしたモルックイベントが、北海道、埼玉、大阪、福岡などの学生たちが連携して全国各地で実施。
- 地域の企業PRとして、PRブース設置し展示販売会などを行う。



事例

企画・調整：イベント・コミッション、32歳までの若者共同事業体

株式会社meleape 様

ARスポーツを提供する株式会社meleape
タイアップし、早慶戦を開催。

実施背景

- 若年層におけるARスポーツの認知拡大
- 単なる娯楽としてではなく、教育的価値を持つ新しいプログラムとして社会に認識してもらうことを目的に開催。



実施内容

- 早稲田大学・慶應義塾大学の学園祭実行委員会が連携して、日本初のARスポーツ大会「早慶戦」を開催、約50名の学生が参加。
- イベント前には社長に登壇いただき、AR技術や今後の可能性について講義を行った。参加学生は、スポーツとテクノロジーの融合、今後の各分野への応用についても学んだ。



事例

企画・調整：大人たちの共創コンソーシアム、32歳までの若者共同事業体、イベントコミッション

株式会社よしもとエリアアクション様

お笑いを通じた国際交流プログラムの共同開催

実施背景

- 「住みます芸人」が持つ地域に根差したコンテンツを全国に広めること、そして国際交流団体が新しいプログラムとして活用できる可能性を探る
- 外国人観光客や留学生が増える中、彼らにとって日本文化やお笑いを楽しむ体験できる新しい形の交流機会を検討する。

実施内容

- 国際交流を行う学生団体と連携。プログラムの有効性を検証するため、学生団体を対象とした意見交換会と体験会を実施しました
- 参加した学生たちは、英語を使ったお笑いのワークショップや、芸人との交流を通じて、このプログラムが持つ可能性を体感。



事例

企画・調整：大人たちの共創コンソーシアム、32歳までの若者共同事業体、イベントコミッション

某旅行代理店

福岡県内の複数大学が連携し、福岡市役所前のイベントスペースで合同学園祭を共同開催。

実施背景

- 新型コロナウイルスの影響で、各大学の学園祭が中止や規模縮小を余儀なくされ、大学の魅力発信に課題が発生。
- オープンキャンパスもオンライン開催が主流となり、地域の中高生と大学生との直接的な交流機会が減少。その結果、大学のリアルな雰囲気や情報を伝えることが困難な状況。

実施内容

- 福岡県内の複数大学が連携し、福岡市役所前のイベントスペースで合同学園祭を共同開催。
- 各大学の特色ある企画やステージ発表を披露。さらに、地域の中高生をメインターゲットとしたオープンキャンパスのような個別相談ブースを設置し、学部紹介やキャンパスライフに関する情報を提供。



事例

企画・調整：大人たちの共創コンソーシアム、32歳までの若者共同事業体、イベントコミッション

某映画制作・配給会社

映画制作、公開へ向けた企画イベントにおいて、各地域で活動する学生団体と連携し実施

実施背景

- 身体障害者野球を題材とした映画公開に向けて、プロ野球名球会とタイアップし、全国で野球教室を実施するが小規模な組織であるため、企画や当日の運営などの人員体制が十分に整っていない。
- 各地域の学生ボランティア団体などと連携することで、事業を円滑に推進するとともに、映画公開に向けた機運情勢を図りたい。

実施内容

- 香川県丸亀市、徳島県鳴門市などで、障害者野球教室イベントを実施するにあたり、地域の学生ボランティア団体などと連携して運営を行ったとともに、SNSでの情報発信などを通して、若年層への障害者野球への認知拡大を図った。



事例

企画・調整：大人たちの共創コンソーシアム、32歳までの若者共同事業体、イベントコミッション

某製薬会社

企業ブランディングを目的に、 全国の学生を対象としたスポーツイベント開催

実施背景

- BtoB事業が中心であるため、企業名の認知度が低く、採用活動に課題を抱える。全国の学生を対象としたイベントを企画・開催することで、企業名の認知度を向上させ、採用課題の解決を目指す。



実施内容

- 全国エリアにて、大学生を対象に、フットサル、バスケ、ランニングなどのスポーツイベント、ファンション、書道、華道などの文化イベントを企画、開催。



事例

企画・調整：32歳までの若者共同事業体、イベントコミッション、リ：ジョン・クエスト

全国9エリアにおけるの学生団体

全国の学生・若者団体が地域自治体・企業と共創し、東京ビックサイトで約2万人参加の展示会へ連携出展。

実施背景

- 学生・若者たち活動の認知度が上がらないため、共創できる企業や自治体を見つけづらい。また、展示会の出展は費用面でハードルが高く、効率的効果的に認知拡大する方法が限られている。



実施内容

- 全国各地で地域活性化に取り組む若者たちが50団体連携し、活動する地域自治体、企業の支援を受け、東京ビックサイトで毎年開催される大規模展示会「自治体公共WEEK」に共同出展。
- 3日間、約500社以上の企業・自治体との名刺交換・商談を行い、共創事例が複数生まれる。



事例

企画・調整：32歳までの若者共同事業体、イベントコミッション

京都の学生団体

全国から約50名の学生団体リーダーが一堂に会し、ハイブリッド形式でサミットを実施。

実施背景

- 新型コロナウイルスの感染拡大による活動制限、多くの学生団体が新しい活動様式の確立や組織運営に課題。
- 各団体のリーダーたちが、この困難な状況を打破し、互いの知見を共有する場の必要性を認識。「孤立から共創へ」をテーマにサミットの開催を企画。

実施内容

- 全国から約50名の学生団体リーダーが一堂に会し、オンラインとオフラインを組み合わせたハイブリッド形式でサミットを実施。
- 参加者による、コロナ禍での課題（イベントの中止、メンバーのモチベーション維持など）への独自の対応策や成功事例の活発な意見交換。
- また、グループディスカッションを通じて、今後各団体が連携して取り組めるような新たな共創のアイデアについても議論を図る。



事例

旭川在住の女子大生と福岡在住の九大生

著名人・アスリートタイアップでの 学生、若者向けトークイベントの開催

実施背景

- 多くの若者団体や学生団体は、それぞれが掲げるテーマ（地域活性、教育、国際支援など）に関心がある層にはアプローチできていますが、それ以外の層への認知拡大に課題を抱える

実施内容

- 学生が持つ興味・関心は多岐にわたるため、誰もが関心を持ちやすいアスリートや著名人をゲストに招いたトークイベントを企画。
- ゲストの持つメッセージやストーリーを通じて、参加者が「社会課題」や「地域貢献」といったテーマに自然と触れられるようイベントを設計。
- トークショー後には、団体活動の紹介やワークショップを組み込むことで、イベントの熱量を保ったまま、自団体の取り組みを間接的かつ効果的に伝えた。

企画・調整：32歳までの若者共同事業体、イベントコミッション



参加無料

上野先生×学生
トークセッション
「これからの社会を考える」

参加者学生限定 オンライン開催

2021.06.07(月)20:00-22:00
◆定員 80名 ※先着順

認定NPO法人WAN理事長
上野 千鶴子氏

主催・企画：学生団体ラジアパルム / 性教育団体Palette宮坂 / Youth Consortium Japan
協力：認定NPO法人WAN / 株式会社ネオ倶楽部

上野千鶴子先生×学生トークセッション『これからの社会を考える』



LIVE!

アスリートと若者たちによる
新たなトークイベント

アスリートゲスト
佐藤寿人氏

元日本代表サッカー選手
3度のリーグ優勝と得点王





繋がるオウンド・メディア 「若者たちが情報配信で共創を生み出す」

全国各地の若者たちが日々配信している動画や情報を繋いで、国内外へ向けて様々な情報を配信する

事例

企画・調整：大人たちの共創コンソーシアム、32歳までの若者共同事業体、オウンド・メディア

株式会社ネクスター 様

Vtuber事業において地域活性化に取り組む学生団体、若者たちとの連携プロジェクトを実施

実施背景

- 小規模な組織であるため、全国各地での動画素材撮影、許可交渉、現地情報収集を自社のみで行うことは、体制構築の面で時間的・費用的な負担が大きい。
- 地元で長年愛される隠れた名所や、伝統工芸の製作舞台裏など、地域住民だからこそ知り得る情報を映像化することが難しい。

実施内容

- 全国各地で地域活性化に取り組む学生団体や若者メンバーと連携。
- 全国9エリアに所属する約30名の若者が、各地域の自治体や企業と連携し、地域独自の魅力を捉えた動画を撮影、撮影された動画素材は、同社によってVtuberコンテンツとして編集され、海外に向けて発信。



事例

企画・調整：オウンド・メディア、リ：ジョン・クエスト、32歳までの若者共同事業体、大人たちの共創コンソーシアム

自主メディア

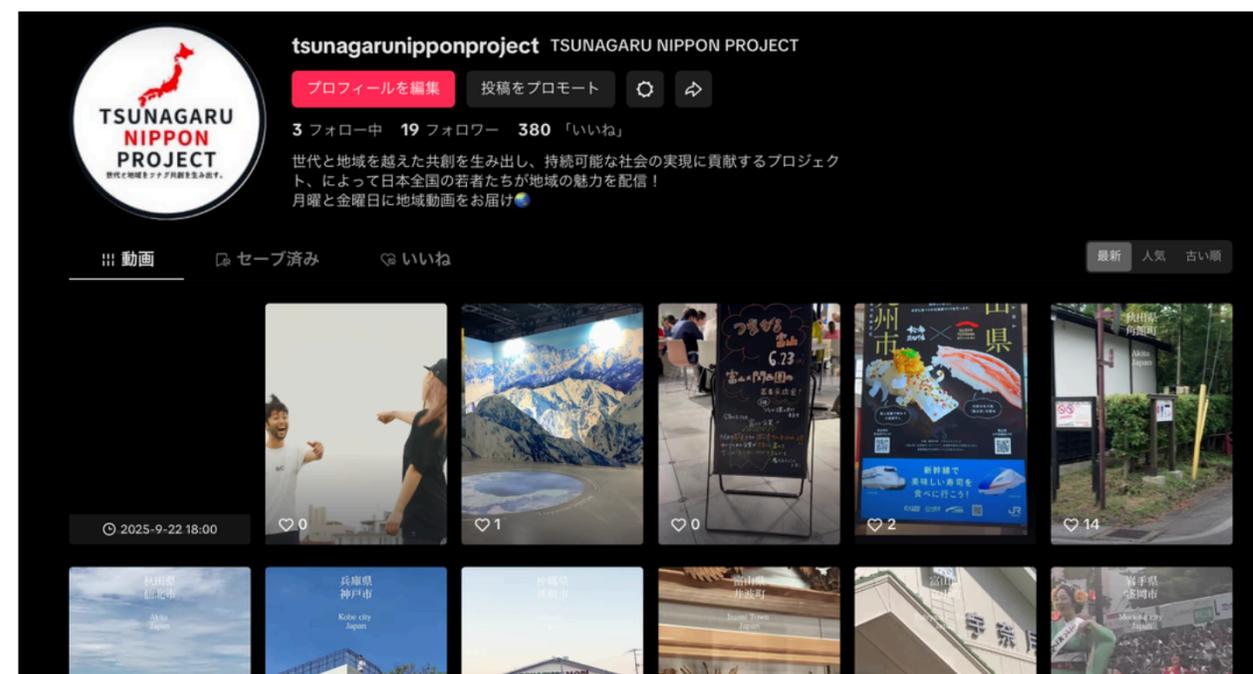
各地の若者がつむぐオウンドメディア 地域に根差した魅力発信

実施背景

- SNSの普及により、地域の魅力を発信する若者が増加。しかし、個々の発信には限界があり、届けられる層や情報に偏りがある状況。
- 点在する才能や情熱を一つに集約し、より広い層へ、より深く地域の魅力を届けるためのプラットフォームが必要とされていた。

実施内容

- 全国各地で活動する若者をつなぐオウンドメディアを構築。
- 単なる情報発信だけでなく、各地域のメンバーが主体的に地域の産業、観光、文化、人々の暮らしを深掘り。
- 記事や動画を通じて、表面的な情報に留まらず、その本質的な魅力や背景を多角的に発信。メンバー間の交流を促し、メディア自体が「つながり」を生むコミュニティとしての役割を担う設計。





ビヨンド・バリュー

「若者たちが海外交流で共創を生み出す」

日本各地と世界を若者たちの活動で繋ぎ、各地域の
関係人口を世界へ広げる

事例

企画・調整：大人たちの共創コンソーシアム、32歳までの若者共同事業体、イベントコミッション

檀原市役所/松原市役所/守口市役所 様

海外スポーツ文化交流プロジェクトの誘致

実施背景

- 地域活性化と国際交流促進を目的としたプロジェクトを受け入れることにより、インバウンド誘致による観光客増加、留学生誘致による地域経済活性化と国際色豊かな地域づくり、青少年・文化交流による相互理解促進と国際感覚育成などを期待。

実施内容

- 日本と中国の子供達をスポーツで繋ぐ中日スポーツ交流プロジェクトを開催。中国上海より少年野球チームを誘致。
- 中国上海より保護者、子供達含めて約30名が地域を訪問。
- 地域の若者たちと連携し、受け入れ準備を行い、地域の高校、大学見学を、地域の伝統体験、観光などを体験プログラムを調整。



事例

企画・調整：大人たちの共創コンソーシアム、32歳までの若者共同事業体、イベントコミッション

ヒューマンアカデミー日本語学校

日本語学校と国際交流団体タイアップ 地域の魅力を海外へ発信

実施背景

- 新型コロナウイルスの影響で、来日が叶わずオンラインで日本語を学ぶ海外の学生。直接的な交流機会が失われる中、日本語学校と国際交流団体は、海外の学習者に対し、日本の文化や生活をリアルに伝えるための新たな取り組みを模索。

実施内容

- 日本語学校の生徒と国際交流団体の学生が企画段階から共同で取り組み、オンライン交流イベントを開催。
- 同世代の若者同士で、お互いの文化や言語、日本の魅力、そして各国の違いについて意見交換する機会を創出。
- 参加者は、画面越しではあるものの、直接的な会話を通じて相互理解を深め、生きた日本語と文化を体験。



Beyond #02
Your Country

2021.09.22(水) 17:00-18:30

日本語を学ぶ日本語学校の生徒さんと日本人学生との国際交流イベントを開催します!!

■主催
ヒューマンアカデミー日本語学校、VISUALIZE-S

■協力
Youth Consortium Japan、株式会社ネオ倶楽部

